

新春集 新特

市報 にいがた

市の人口

人口	450,956	(+ 477)
男	221,285	(+ 200)
女	229,671	(+ 277)
世帯数	142,688	(+ 80)
55年11月末現在		

発行日 毎週日曜日
 発行所 新潟市役所
新潟市西通 6 番町
 8 号
 電話 代表(28)1000
 編集人 高橋 甲子
(担当市民企画部広報課)
 印刷所 権第一印刷所



伸びろ未来へ

スポーツでいい汗流す一日のはじまりに心はずむ、僕ら健康家族。フィールドいっぱい輪になって、さあ伸びろノ大空高く、明るい未来へ (昨年のスポーツカーニバルから)

81年の幕明けにあたって



新潟市長

川上喜一郎

昭和五十六年一月一日

市民のみなさん、新年おめでとうございませう。激動の八十年代突入といわれた昨年は、みなさんにとってどんな年でしたか、生活や経済活動などすべての分野にわたってきびしいものでなかったかと思えます。さて今年はどうなのか、誰もが見過せないと思えますが、国の内外の状況の中で、きびしさは相変わらず、どうかくぐれども健康に気をつけて頑張っていたらいいと思います。私、昨年は病氣入院のためみなさんにご迷惑をおかけしただけに、十分注意して頑張りたいと思います。

さて昨年新潟市は人口四十五万人を突破して、日本海沿岸の拠点都市としてさらに発展をつづけています。遅れていました新幹線もやがて走りはじめますし、ソ連、中国などの経済文化交流もさらに充実してきました。

わがまち新潟は、政治、経済、文化などの機能の集積をもっているのですが、これからさらに高めなければなりませんから、そのための都市基盤整備が、新潟の将来の姿を展望しながら精力的にすすめられなければなりません。そして同時に、このように発展してゆくなかで、市民の生活をより快適に、より豊かなものにするための施策が充実されなければなりません。市民生活の周囲を見ると、き、生活環境、福祉、健康など各分野で、これをできるだけ解消しなければなりません。財政問題をほはじめいろいろな条件の中ですが、工夫しながらこの二つの方向を着実に前進させなければなりません。私は市議会とともに、みなさんの力を借りながら取り組みます。どうかいまままで寄せられたご協力、ご支援を強めていただけるよう、よろしく願います。

今年がみなさんにとって幸多い年でありますように、そして私たちのふるさと新潟がより充実した「まち」になるよう、年頭にあたって心から祈る次第です。